

将来を見据えた上田のまちづくりに向けて、「市民力」と「共感力」を生かした市政運営に「倦まず弛まず怠りなく」努めてまいります。

脱炭素先行地域への取組

昨年11月に国から選定を受けた脱炭素先行地域の計画について申し上げます。「ローカル鉄道と市民がともに支え合うゼロカーボン×交通まちづくり」というテーマにより、上田電鉄別所線沿線エリアを中心に、太陽光発電設備や蓄電池の導入、鉄道架線を活用した自管線の設置などのエネルギー関連事業に取り組み内容となっております。

事業の実施にあたっては、市民、関連事業者にご理解とご協力をいただくとともに、市の参画、関与により設立を予定している地域エネルギー会社を中心に推進してまいります。

水道事業への取組

水道事業につきましては、健全経営に留意しながら、将来にわた



第82回国民スポーツ大会のソフトテニス競技会場として整備している新テニスコート(イメージ図)

り安全で安心な水道サービスを維持するため、上田長野間の4つの水道事業体における事業統合について研究を重ねてまいりました。

令和6年度早期には、上田市、県企業局、長野市、千曲市、坂城町を構成団体として、任意協議会の立ち上げを予定しております。市としても染屋浄水場の耐震化や老朽管路の更新などを進める必要がある中で、しっかりと協議を進め、持続可能な水道事業を今後どのように経営していくべきか判断していく考えであります。

「市民が主役のまちづくり」自治・協働・行政に対する取組

犯罪被害者などへの支援につきましては、支援に関する基本理念を定め、犯罪被害者などの権利・利益の保護を図り、もって誰もが安全で安心して暮らすことがで

内他地域に先駆け策定した「第2期上田地域基本計画」が、令和5年12月26日付で国から同意されました。

今後は、本計画に基づき、地域特性を生かして高い付加価値を創出する事業者の取組を支援することと、さらなる企業誘致や留置につなげ、地域経済の振興、発展に資するよう鋭意進めてまいります。次に、農林業の振興について、農地利用の将来像を明確化する「地域計画」の策定につきまして、各地域での話し合いを通じ、令和6年度末までの策定に向け、農業委員会、JAなども連携し、協議を進めてまいります。

また、森林整備については、必要な地方財源を安定的に確保する「森林環境税」が創設され、令和6年から施行されます。市といたしましては、この財源を有効に活用して、適切な森林整備を推進し、森林・林業の再生に取り組んでまいります。

「ともに支え合い健やかに暮らせるまちづくり」健康・福祉に対する取組

国では、助産師による育児支援を受ける産後ケア事業のさらなる推進を図るために対象者を拡大し、支援を必要とする全ての方が利用できる事業であることを明確

きる地域社会の実現に寄与するため、「犯罪被害者等支援条例」の制定に向けて、今定例会に条例案および予算案を提案いたしました。

本条例の基本理念に基づき、対象となる事案が発生した際には、犯罪被害者などの心に寄り添った支援を行うとともに、犯罪被害者などが置かれている状況や支援の必要性などに対する理解を深めるための啓発に努めてまいります。

また、市民の利便性向上と窓口の効率化は、国が令和7年1月から運用を目標としている住民記録システムの標準化に伴い、書かない窓口システムの設定変更・連携構築などの改修作業に要する経費のほか、戸籍法などの一部改正により、戸籍や戸籍附票に振り仮名を記載する事業が令和7年5月を目途に運用を開始することとなり、システム改修に要する経費を計上しました。

化したことから、市においても令和6年1月から対象者を拡大いたしました。令和6年度は、自宅に助産師が訪問する訪問型支援を新たに導入するとともに、利用者の負担軽減を図ります。

また、妊産婦や子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う「子ども家庭センター」を設置し、切れ目ない支援の実施に向け、体制の強化を進めてまいります。保育料につきましては、幼児教育・保育の無償化の対象外となっている3歳未満児につきまして、来年度から県の事業を活用し、第3子以降を無償化するなどの軽減策の拡充を図ることといたしました。

今後、子育て世帯のさらなる支援と人口減少、少子化対策に取り組んでまいります。

「安全・安心な快適環境のまちづくり」自然・生活環境に対する取組

「上田市都市計画マスタープラン」および「上田市立地適正化計画」が都市計画審議会を経て決定したため、計画に掲げるネットワーク・プラス・多極拠点集約型都市構造を目指した人口減少時代に対応したまちづくりを推進してまいります。

また、中心市街地で進める上田城の復元整備を見据え、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりを推進していくため、上田城城下町エリアビジョンの策定や大手門公園周辺の大手門まちかどテラス整備事業を実施してまいります。

「生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり」教育に対する取組

中学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けては、令和5年度に立ち上げた上田市地域クラブ活動推進協議会による協議を踏まえ、当市における中学生期のスポーツ・文化芸術活動に係る推進計画を令和6年度中に策定してまいります。

また、教員の働き方改革と学力向上に対する取組として、令和6年度から、市内全中学校に、デジタル採点・成績管理システムを導入いたします。テスト採点に係る教員の負担軽減を図るとともに、採点結果の集計および分析機能を学校現場で活用し、学力の定着と向上を図ってまいります。

次にスポーツ環境の整備について、令和10年の第82回国民スポーツ大会開催まで4年半となるため、令和6年度は、庁内に準備室を設置するとともに、市のほか関係機関・団体で組織する準備委員会を立ち上げ、各団体や地域の皆さまとの協力体制を構築し、大会開催が有意義なものとなるよう準備を加速してまいります。

併せて、ソフトテニス競技会場としての予定されている新テニスコートの整備につきましては、人



ます。

さらに、上田地域サンマル交通圏構想の実現に向けた市道の整備といたしましては、岩下地区の踏入大屋線の整備や新神川橋の上部工事を進めてまいります。市内幹線道路網の整備は、日常の渋滞緩和や交通の安全を確保するとともに、災害発生時の緊急輸送道路としても活用が図られるため、安全・安心な市民生活が維持できるよう今後も推進してまいります。

「誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり」産業・経済に対する取組

民間事業者が行う地域の経済活動を牽引する事業を促進するため、市町村や県などが連携し、県

工芝の敷設やクラブハウスの建設工事を実施し、競技者のみならず観戦者も快適にご利用いただける施設となるよう整備を進めてまいります。

「文化を育み、交流と連携で風格漂う魅力あるまちづくりに対する取組

令和6年度につきましては、旧市民会館の解体や武者溜りの整備が着実に実施できるよう関連する工事に着手し、三十間堀や冠堀などの発掘調査のほか、具体的な整備方針となる「史跡上田城跡整備基本計画」の策定に向け、計画的に進めてまいります。

また、サントミュージゼ上田市交流文化芸術センター・上田市立美術館は、平成26年10月のオープンから10年目を迎えるため令和6年度を10周年イヤーと位置付け、これまでの歩みを振り返るとともに、市内外の大勢の皆さまにより一層文化芸術に親しんでもらう事業を展開してまいります。

3月市議会定例会初日に提案した議案の概要

- 条例案(15件) 上田市犯罪被害者等支援条例制定について ほか
○令和5年度補正予算(6件) 一般会計2件、企業会計4件
○令和6年度当初予算(10件) 一般会計1件、特別会計6件、企業会計3件
○事件決議案(5件) 国補道路メンテナンス事業橋梁上部工事(神川橋)請負変更契約の締結について ほか



施政方針はインターネットで動画や全文をご覧いただけます。

